

# 沖縄県マリンタウン国際会議・大型展示場整備運営等事業に係る第2回有識者委員会

## 議事概要

1. 日 時：令和5年11月29日（水）14:30～16:30
2. 場 所：沖縄県教職員共済会館八汐荘 中会議室 B
3. 出席者：

### —委員—

小倉	暢之	琉球大学 名誉教授
原	利一	一般財団法人くにびきメッセ 誘致統括官
前田	博	森・濱田松本法律事務所 弁護士（オンライン）
手計	徹也	デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社 パートナー 公認会計士
湊辺	美紀	沖縄経済同友会 代表幹事
城間	秀盛	与那原町 副町長
崎原	盛秀	西原町 町長
宮城	嗣吉	沖縄県文化観光スポーツ部 部長

（欠席：下地委員長、照屋委員）

### —事務局及び業務受託者—

沖縄県、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社

4. 議題：
  - (1) 実施方針への質問及び意見に対する回答（案）について
  - (2) 要求水準書（素案）について
  - (3) 事業者の募集・選定の方針について
  - (4) 前回委員会における意見への対応について
  - (5) 質疑応答
5. 配布資料
  - (1) 資料1-1 事業手続き・スケジュールについて
  - (2) 資料1-2 前回委員会における意見への対応について
  - (3) 資料1-3 実施方針公表前におけるヒアリング結果について
  - (4) 資料2 実施方針への質問及び意見に対する回答（案）について
  - (5) 資料3-1 要求水準書（素案）について
  - (6) 資料3-2 要求水準書（素案）
  - (7) 資料4-1 落札者決定基準の検討
  - (8) 資料4-2 落札者決定基準（素案）
6. 議事：
  - (1) 前回委員会における意見への対応について

- 実施方針公表前に実施したヒアリングの回答をみると多種多様な意見がある。
- 西原町、与那原町など地元町村の企業が活用されることを望む。

(2) 実施方針への質問及び意見に対する回答（案）について

- 必須の宿泊施設の供用開始時期について、大型 MICE 施設より後ろ倒しの開業を想定していない旨が分かるような回答としてほしい。
- 本事業へ県内企業が参画することを期待していることについて、誤解を与えないような回答としてほしい。

(3) 要求水準書（素案）について

- 県内で 1,000 名規模が一同に会することができる場所が課題となったことがある。会議室の規模については検討の余地があると考える。
- ホテル客室数について、200 室では少ないと考える。富裕層向けのスイートルームについても室数を確保する必要がある。
- 「沖縄らしさを考慮したデザイン」について、与那原町名産の赤瓦等の使用を検討できたらよい。
- MICE 施設について、赤瓦等を要求してしまうとかえってデザインが固定化されてしまうので「沖縄らしさ」という表現で十分と考える。
- コンサートの記載があるが、MICE 施設でコンサートをする場合には建設上制約がある。プロモーターへのヒアリングも行うべきではないか。大規模のコンサートでは資材が大量に必要であり、県外では 11t トラック×20 台ほどで搬入される。コンサートの開催については検討を重ねるべきと考える。
- バックヤードの面積等について検討してほしい。
- 要求水準書（案）として営業・誘致についてあまり触れられていない点が気になる。
- MICE 施設について、来訪者の印象に強く残る施設になってほしい。

(4) 事業者の募集・選定の方針について

- 提案審査の過程で、プレゼンテーション、ヒアリングとあるが、提案書の内容についてパース等が含まれるか、検討状況を教えてほしい。
- 作成にあたって、参考とした事例を教えてほしい。

以上